

# 合理的配慮の提供を求めるための 知識・技能・考え方を育む実践研究

～障害特性に関する説明資料とカードゲームの制作を通して～

○ 内野 智仁（筑波大学附属聴覚特別支援学校 教諭）

# 合理的配慮の提供を求めるための教育活動

1. 職場で合理的配慮の提供を求める資料
2. 職場の理解を得るためのカードゲーム

# 1. 職場で合理的配慮の提供を求める資料

## 学習目標

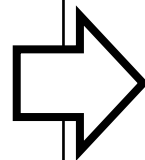
- 将来の職場をイメージして、どのようなことで困ると思うのか資料に明示できる。
- 将来の職場をイメージして、どのような支援をお願いしたいのか資料に明示できる。
- 将来の職場の方々にとって見やすい、分かりやすい資料を意識して作成できる。

# 1. 職場で合理的配慮の提供を求める資料

①合理的配慮の依頼文書を学ぶ  
(先輩が職場で配付した文書)



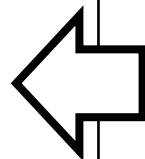
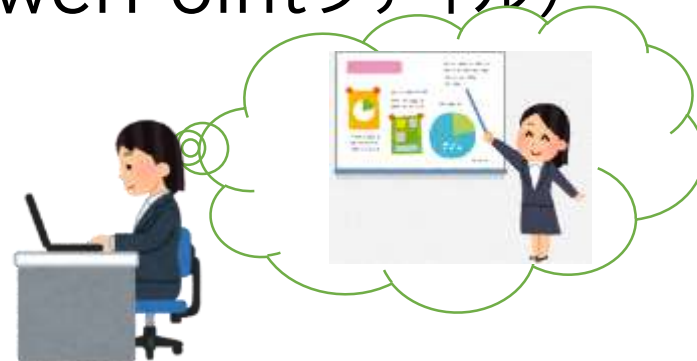
②合理的配慮の依頼文書を作成  
(Wordファイル)



④プレゼンテーション(発表)  
(一人5分間を上限、発表を撮影)



③プレゼンテーション資料を作成  
(PowerPointファイル)



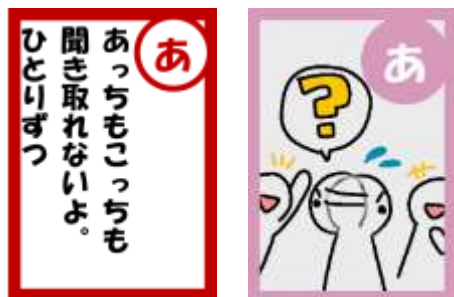
## 2. 職場の理解を得るためのカードゲーム

### 学習目標

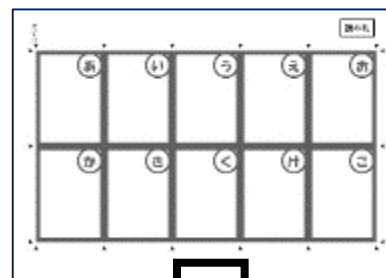
- かるた遊びを題材として、知ってほしい情報を絵や短い文章で表現できる。
- かるた遊びを通して、職場の方々に「そうだったのか」「知らなかった」と思わせる内容を検討できる。
- かるた遊びを通して、職場の方々に「今後はこうやって支援しよう」と思ってもらえる内容を検討できる。

## 2. 職場の理解を得るためのカードゲーム

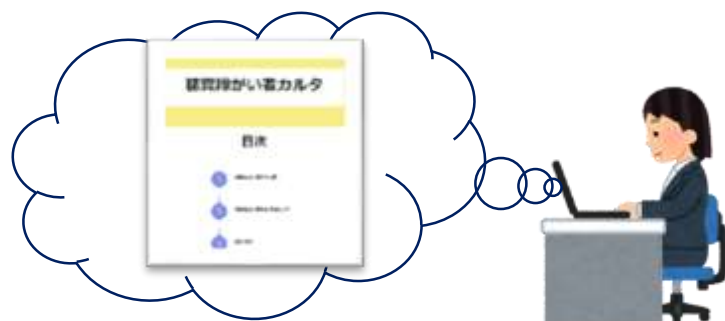
①「かるた」と学習目標の理解  
(作品例の把握)



②「読み札」「絵札」の設計  
(プリントで検討／下書き)



④自らの作品を広める取り組み  
(ウェブサイト制作／説明動画)



③「かるた」の作成／改善  
(PowerPointファイル)

